

HELLO



Vol.15

令和2年12月15日発行

袋井市役所総務部国際課国際交流係

TEL 0538-44-3138

FAX 0538-43-2132

MAIL international@city.fukuroi.shizuoka.jp

FROM FUKUROI



平野 利之 さん 国籍：ブラジル
所属：袋井市役所危機管理部危機管理課災害対策係

みなさん、こんにちは！ブラジル国籍の平野利之と申します。去年から外国籍職員として、市の危機管理課災害対策係で働いています。今回はブラジルの面白い文化を紹介したいと思います。

ブラジルには、ニックネームを付けて呼び合う習慣があります。カカ、ロナウジーニョ、ジーコ、ペレなど、誰もが一度聞いたことがある有名なブラジル人サッカー選手名ですが、実はすべて本名ではないです。サッカーに限らず政治家や芸能人、身近の友人や親戚も本名を知らずにニックネームだけで呼び合うことがあります。例えば、もっともポピュラーだと思われるのが、「バイシーニョ (baixinho=チビ、ちびっこ)」(形容詞「baixo (背・高さなどが) 低い」を可愛らしく言った表現です)。もちろん言う方も悪気などない様子で、むしろ最大級の親しみを醸し出す言いつぶり。日本なら、大の大人に「チビ(っこ)」なんて、言われる方も、恐らく言う方も、さらに横で聞いている方も、かなり抵抗を感じるものだと思うのですが、こちらブラジルでは、言われる方もイヤな風ではないのです。ブラジルでは、日本のように敬語が存在しないため、お年寄りや目上の人に対しても冗談を交えながら会話をして、交流を楽しんでいます。



そしてブラジルでは朝ごはんのことを「カフェ・ダ・マニャン」といいます。そのまま訳すと「朝のコーヒー」という意味になります。それくらいコーヒーはブラジル人の私生活において、なくてはならない存在です。さらにバゲット(フランスパン)にハムやチーズをはさんだものや、日本のパン屋さんでも最近見かけるようになったポンデケージョ(チーズ入りもちもちパン)などのパンを食べます。ブラジルのポンデケージョはマンジョッカ(キャッサバ芋)の粉が入っているので、日本のよりもっちりとしています。



11月1日に「大統領選挙講座 x 異文化カフェ」を行いました。アメリカ人4人と日本人8人が袋井市役所の1階市民ホールに集まり、アメリカの政治制度や2020年の大統領選挙

についての講座を受けた後、グループに分かれて交流をしました。

当日はコロナウイルス対策としてマスクの着用、手指の消毒、距離を確保しながらのイベントでしたが、楽しく交流ができました。また、アメリカの大統領選挙について理解を深めることができました。参加者からは「皆さんとの交流を楽しむことができました。有意義なひとときをありがとうございました。またの機会を楽しみにしております」などといったメッセージを頂きました。

